

資料：景観形成の目標と方針について

景観形成の基本的な視点

福山市は広大な市域を有しており、自然景観や歴史・文化的景観、都市・集落における景観など、多様な景観資源が数多くあります。これらの景観資源を生かし、さらに魅力的で良好な景観を形成していくための基本的な視点を次のように整理します。

[景観形成の根底をなす視点]

①まちづくりを実現するための景観づくり

景観とは、自然や歴史・文化、技術や制度などを背景に、人々の暮らしや産業活動を通じて作り出される「まち」や「地域」の姿といえます。

したがって、景観をまちづくりのための手法のひとつとして捉え、めざすべきまちの将来像を描き、その実現を図るため、良好な景観づくりに取り組むことが必要です。

[景観形成の目標、方針の決定に関する視点]

②多様な景観資源が輝く、福山らしい魅力的な景観の発見と育成

福山市には、福山城周辺地区や鞆地区・神辺地区の歴史・文化景観をはじめ、市域北側の山地部での山野峡や市域南側沿岸部の自然海岸や多島美など、地域特性を背景とした多様な景観資源が、地域住民等に親しまれています。また、広い市域には全市的にはあまり知られていない地域固有の景観資源もあります。

これらの景観資源を守り、育て、見つけ、磨くことで、市民が誇りと愛着を感じられる景観、また、まちを訪れる人が福山に魅力を感じられる景観を形成することが必要です。

③自然や歴史と人々の営みが調和した景観づくり

自然的なものや人工的なもの、古いものと新しいものが共存する福山市では、自然に囲まれた人工物や、新旧入り混じった都市景観がそれぞれの地域で生まれています。

山林や田園集落、市街地、沿岸部などそれぞれの地域では、めざすべきまちの将来像を踏まえ、調和の図られた景観を形成するため、地域資源や地域特性を生かしたデザインや規制・誘導を進めていくことが必要です。

[景観形成実現化の方策に関する視点]

④住民，事業者，行政の協働で取り組む

わが国の多くの都市では，経済性や利便性が優先され，個性的で魅力ある景観形成が十分実現できていませんでしたが，今後は，景観づくりやその背景となるまちづくりについて，経済性や利便性との調和に配慮しつつ，市民や事業者などの意識の醸成に努めることが必要です。

福山市においても，住民・事業者などと行政が協働し，まちと景観のあるべき姿を目標として描きながら，その実現に向けたルールをつくるなど，誇りと愛着を育む魅力ある景観づくりを進めていくことが必要です。

⑤景観づくりを総合的・体系的に取り組む

福山市では，これまで地区計画等によるまち並み誘導や道路・河川等の都市基盤施設整備，商業振興や観光振興のための修景整備，緑や自然環境の保全など，様々な方面から良好な景観づくりをめざし，取組を進めてきました。

今後は，さらに国・県の取組や住民・事業者の取組など，相互の連携を十分に図りながら，総合的・体系的に景観づくりを進めていくことが必要です。

景観形成の理念と目標

1 景観づくりの理念

総合計画や都市マスタープランに定める景観形成の方針を踏まえ、景観づくりの理念を次の通りとします。

笑顔あふれる景観まちづくり

良好な景観づくりの取組は、潤いのある豊かな生活環境や個性的で活力ある地域社会を創造することにより、めざすべきまちづくりを実現するためのものです。

本市は広大な市域を有しており、それぞれの地域において自然や歴史・文化、産業活動などを背景とした、多種多様な景観資源があります。これらの地域資源や地域の特性を踏まえ、めざすべきまちの将来像を住民や事業者などと行政が共有し、良好な景観づくりに取り組むことにより、市民が誇りを持ちながら快適に暮らすことができ、また中国・四国地方の拠点都市として、まちを訪れる人が潤いや楽しみ、喜びが感じられるような、「笑顔あふれる景観まちづくり」を進めます。

2 景観づくりの目標

景観づくりの理念を踏まえ、景観づくりの大目標を次の通りとします。

景観から感じる、“多様な魅力にあふれた福山づくり”

広大な市域を有する本市には、様々な地域の資源や魅力があることから、地域の特性に応じたバランスと調和を図りつつ、市民が誇りや愛着を持ち、まちを訪れる人に市の良いイメージを発信できるような、景観から感じる“多様な魅力にあふれた福山づくり”を進めます。

また、具体的な景観づくりに向けて、次の3つの小目標も掲げます。

◆ 「まち」の潤いやにぎわい、活力を感じる景観づくり

人々の暮らしや産業活動など、「まち」の特性に応じて調和が図られた、潤いやにぎわい、活力が感じられる景観づくりを進めます。

◆ 貴重な歴史・文化を次世代に引き継ぐ景観づくり

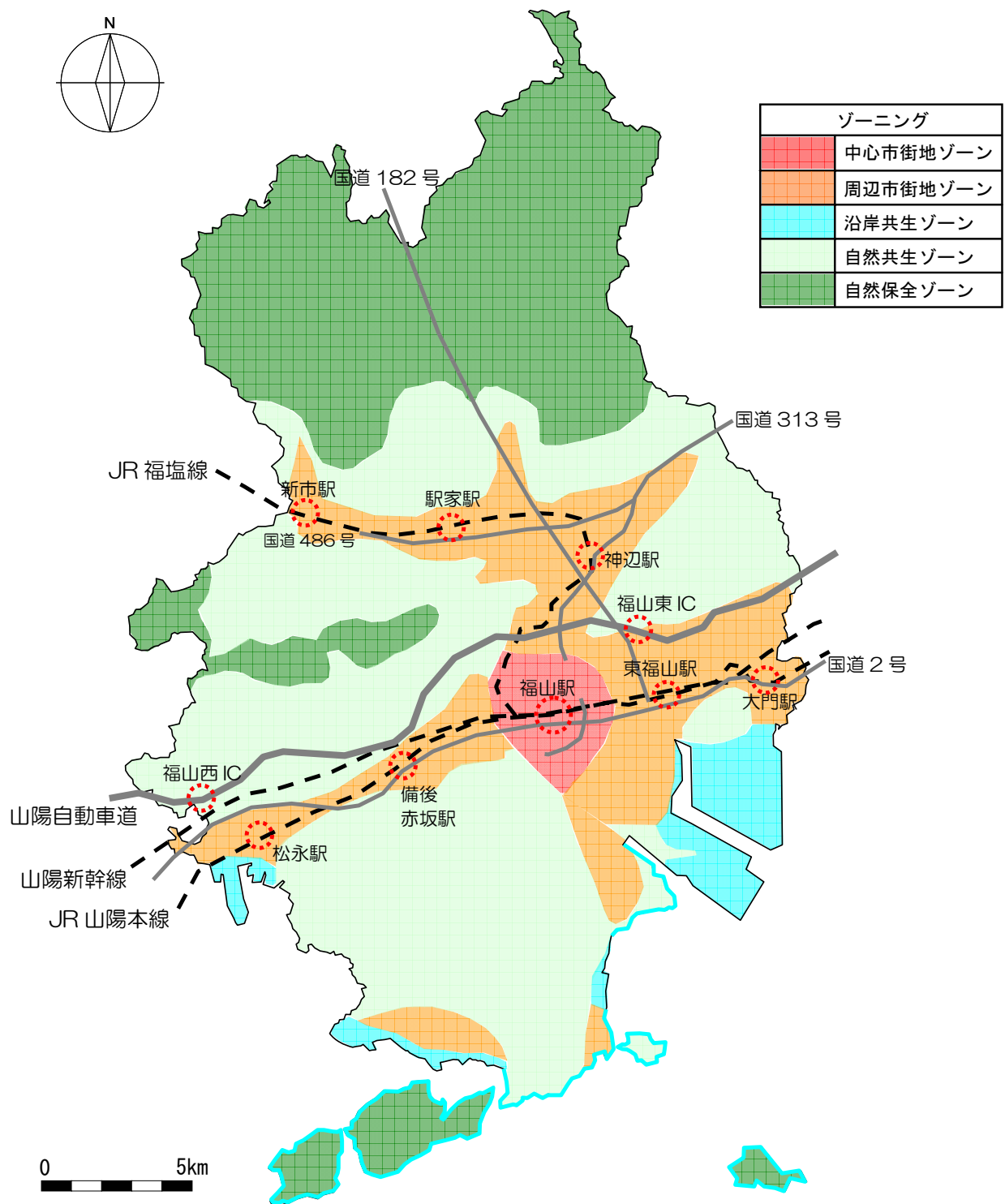
鞆の歴史的なまち並みや福山城、神辺本陣などは、本市を印象付ける貴重な資源であり、計画的に整備・保全、活用を図るとともに、それらを中心として歴史、文化を感じることでできる魅力的な景観形成を図り、次世代に引き継ぎます。

◆ 多様な自然を身近に感じられる景観づくり

山林、河川、自然海岸や瀬戸内海に浮かぶ島々など、あるいは郊外に広がる緑豊かな農地などは、良好な都市環境を形成し、都市生活に潤いと安らぎを与える貴重な資源であり、適切に整備・保全することにより、多様な自然を身近に感じられる景観づくりを進めます。

地形や土地利用の特性などから、市域をめざすべきまちづくりの類型（ゾーン）で区分し、類型ごとに景観づくりの方針を示します。

類 型	ゾーンの特徴と課題	景観づくりの方針
中心市街地 ゾーン	<p>福山駅を中心とする市街地で備後の中核都市にふさわしい都市づくりを行っていくゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備後の中核都市にふさわしい風格とにぎわい、楽しさが感じられる景観づくり ・歴史・文化施設が集積した景観 ・歩いてみたくなる景観づくり ・都市の玄関口としての良好な景観づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・活力ある現代都市景観の歴史的・文化的景観との融合 ・元気・楽しさが感じられる駅南側の景観づくり ・歴史・文化が感じられる駅北側の景観づくり ・地域景観資源を結ぶ魅力的な回遊路景観づくり ・幹線道路沿道の快適な景観づくり
周辺市街地 ゾーン	<p>中心市街地ゾーンの周辺に広がる市街地で、地域の特性に応じたゆとりあるまちづくりを行っていくゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道駅や市役所支所周辺など地域の拠点としての活力が感じられる景観づくり ・各地域の持つ歴史・文化的な景観資源を活かした景観づくり ・小規模な開発地での規制・誘導 ・国道等の幹線道路の沿道や高速道路の IC 周辺での快適な景観の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な地域特性を活かした地域の「顔」づくり ・地域住民が誇りと愛着を感じる歴史・文化的景観の保全・整備 ・魅力的な住宅地景観づくり ・身近な景観資源としての農地の活用 ・幹線道路沿道・高速道路 IC 周辺での快適な景観づくり
沿岸共生 ゾーン	<p>東部から沼隈、松永にいたる臨海部の工業地域や水呑から鞆、沼隈、内海、走島などの沿岸部からなるゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内海に浮かぶ島々と一体となった美しい海浜景観 ・安全で住みよいまちづくりと魅力的な景観の共存 ・瀬戸内海の自然と調和した歴史的景観や現代の公共施設や工作物 ・臨海部の工業集積地における景観づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な自然景観の保全と活用 ・住みよさと歴史・文化が調和する鞆の景観づくり ・自然景観と人がつくりだす景観との融合が地域の活性化に寄与する沼隈、内海の景観づくり ・鞆、沼隈、内海での海からの景観づくり ・活力が感じられる産業景観づくり
自然共生 ゾーン	<p>市街地を取り囲む丘陵や農地、集落を多く含む、市街化調整区域を中心とするゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芦田川等の水や緑と一体となった景観の形成 ・山々のふもとに広がる田園や集落地の調和した景観の形成 ・農業活動の保全・維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産と一体になった田園景観の維持・保全 ・良好な水辺景観づくり ・主要な道路沿いでの自然と調和した景観づくり
自然保全 ゾーン	<p>北部や島しょ部の山林など、都市的な土地利用が見込まれない、都市計画区域外を基本とするゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然景観の利用と保全のバランス維持 ・緑と調和した集落景観の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市的な景観の背景となる緑の保全 ・魅力ある景観拠点の形成 ・山村集落や自然景観の景観保全

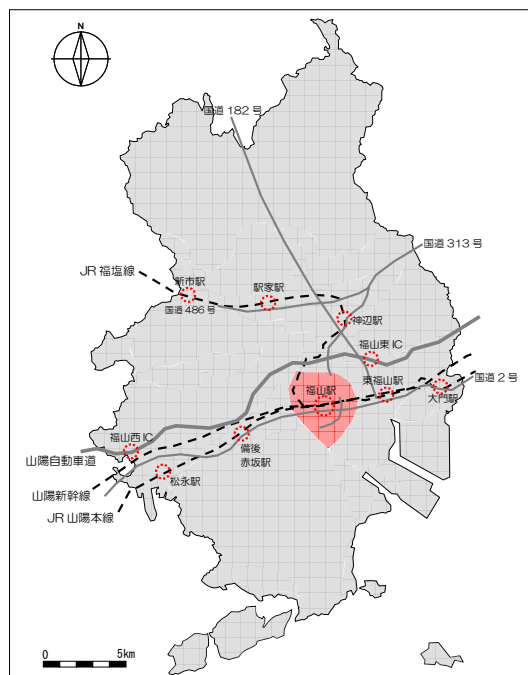


景観まちづくりのゾーニング図

(1) 中心市街地ゾーン

① 景観概況

- ・福山駅前広場から駅前大通りを中心に、備後の中核都市にふさわしい風格ある都市づくりが進められてきました。福山駅北側の文化ゾーンでは福山城を中心に美術館、博物館などの歴史・文化施設が集積し、趣を感じさせる景観が形成されています。
- ・現在、福山駅周辺では、駅前広場の整備や市街地再開発事業等が進められており、これを契機とし、さらに、にぎわいや楽しさがあふれる新たな景観づくりが求められています。
- ・内港周辺地区では、リーデンローズやみなと公園など、住む人・訪れる人に魅力的な空間が創出され、潤いとにぎわいを感じられるまちづくりが進められてきました。にぎわいをより広い範囲に広げるため、歩行者ネットワークの形成が重要となっています。
- ・そのため、安らぎと潤いを感じる親水空間整備（道三川整備事業）や久松通りにおける賑わいの道づくり事業等が行われ、楽しく回遊できる空間づくりがなされ、一部では、空き店舗の減少などにぎわいの向上にも役立っています。しかし、一方で人通りが減少し活力が低下している商店街などもあり、商業機能の強化とともに人々が歩いてみたくなる景観づくりが必要となっています。
- ・また、国道2号など幹線道路の整備に当たっては、街路樹植栽や電線類地中化による良好な街路景観づくりが進められているものの、建物や広告物等による景観も含め、福山の顔づくりに結びつく沿道の良好な景観の形成も期待される状況にあります。



② (都市計画マスタープランによる) 目指すまちづくりの姿

- 本市の中心市街地を形成する地域であり、中国・四国地方の拠点都市にふさわしい拠点性と求心力を備えた都市機能の集積を図るとともに、徒歩圏内に生活機能が充実した、歩いて暮らせるまちづくりを進めていく。

③景観形成の基本方針

●活力ある現代都市景観の歴史的・文化的景観との融合

- ・福山駅を中心に、福山ならではの風格ある玄関口を形成するため、駅北側の歴史・文化的特性との調和が図られた、駅南側での活力を感じさせる現代的な都市景観の形成を図ります。

●元気・楽しさが感じられる駅南側の景観づくり

- ・駅南側では公共空間や商業地を中心に、来街者が元気と楽しさを感じられるよう、にぎわいを演出する景観形成を図ります。特に、現在まちづくりが大きく変化している駅前広場や市街地再開発事業区域については、適切に公共的空間の確保や建築物・広告物等の形態・色彩の誘導を行い、その効果的な実現を図ります。

●歴史・文化が感じられる駅北側の景観づくり

- ・駅北側では福山城をはじめ、県立歴史博物館やふくやま美術館等の歴史的・文化的景観資源を有効活用するとともに、都心部に残る貴重な風致を保全することにより、市民の誇りとなる個性的な景観の形成を図ります。

●地域景観資源を結ぶ魅力的な回遊路景観づくり

- ・魅力ある公共施設やばら公園、中央公園をはじめとする公園等を結ぶ歩行者ネットワーク空間において、道三川や商店街などの地域景観資源を活用し、質の高い魅力的な回遊路景観の形成を図ります。

●幹線道路沿道の快適な景観づくり

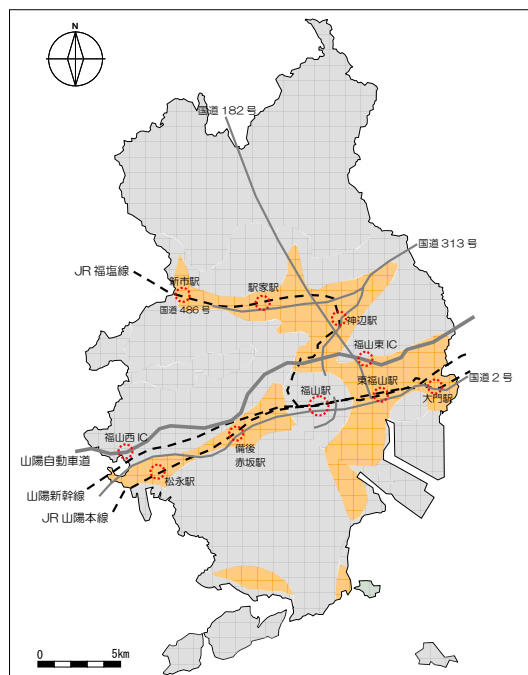
- ・国道2号をはじめとする幹線道路では、街路樹植栽や電線類地中化による道路の修景整備を図るほか、沿道の建物や広告物も含めた景観誘導を図り、快適な沿道の景観形成を図ります。



(2) 周辺市街地ゾーン

① 景観概況

- ・各地域における鉄道駅や市役所支所周辺，近隣商業集積地を中心に，地域の商業・業務・サービス施設が集積する地域拠点の形成をめざしており，地域の活力が感じられる景観の形成が必要です。
- ・神辺の歴史的まち並みや新市の吉備津神社，松永のクリークなど，各地域毎の特性に基づく歴史・文化的な景観資源があり，その地域ならではの趣や潤いを感じられる景観が形成されています。
- ・近年計画的に開発された多くの住宅地では，地区計画制度に基づく規制・誘導が行われ，良好な市街地景観が形成されています。しかし，それら以外の比較的小規模な開発地では，良好な景観づくりのための規制・誘導が課題となっています。
- ・市街地を縦横断して市中心部や隣接市とを結ぶ国道等の幹線道路の沿道や高速道路のインターチェンジ周辺の景観は，福山を印象付けるものであり，周辺の建物や広告物等による景観も含め，快適な沿道の景観形成が望まれる状況にあります。



② (都市計画マスタープランによる) 目指すまちづくりの姿

- 中心市街地ゾーンの周辺に住宅地が広がる地域では，地域の特性に応じた生活機能の充実や公共交通の利便性向上などにより，ゆとりあるまちづくりを進めていく。

③景観形成の基本方針

●多様な地域特性を活かした地域の「顔」づくり

- ・周辺地域の拠点となる地区は各地域の「顔」となる場所であるため、地域の景観特性に配慮して、福山の持つ景観の多様性を感じることができる、各地域ならではの魅力的な景観形成を図ります。

●地域住民が誇りと愛着を感じる歴史・文化的景観の保全・整備

- ・神辺本陣周辺や新市の吉備津神社、松永の博物館など、各地域の主要な歴史・文化的景観資源は、地域のシンボルとなり、地域住民に愛着や誇りを持たれているため、積極的に保全・整備を進め、個性的な景観の充実を図ります。

●魅力的な住宅地景観づくり

- ・計画的に開発された住宅地で地区計画により良好な景観形成を進めている地区等については、宅地化を促し、魅力的な住宅地の景観形成を図ります。また、比較的小規模な開発地についても、緑化を促進し潤いのある良好な居住環境の創出に努めます。

●身近な景観資源としての農地の活用

- ・市街地内の農地については、市街地における貴重な環境空間としての役割に留意し、市民農園等としての利用も促すなど、地域の身近な緑景観としての魅力を高められるよう、虫食い状の宅地化のコントロールに努めます。

●幹線道路沿道・高速道路ＩＣ周辺での快適な景観づくり

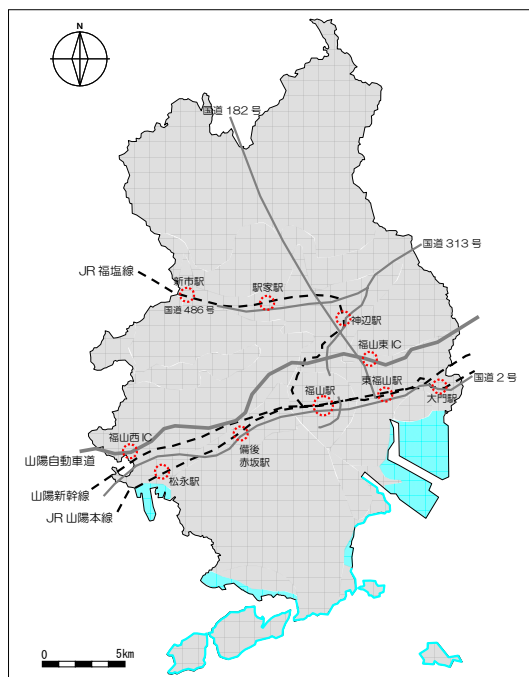
- ・国道２号や国道４８６号等の幹線道路や高速道路インターチェンジ周辺では、沿道の建物や広告物も含めた景観誘導を図り、来訪者にも好印象を与える快適な沿道の景観形成を図ります。



(3) 沿岸共生ゾーン

① 景観概況

- ・市域南部の鞆，沼隈，内海等の沿岸地域では，瀬戸内海に浮かぶ島々と一体になって，美しい海浜景観を形成しています。なかでも鞆地区では，歴史的特性を感じるまち並み景観と仙酔島や弁天島などの多島美が個性豊かな景観をつくりだしています。
- ・鞆地区では，歴史・文化が生活の中に息づく歴史・文化的景観と豊かな自然景観が，地域住民だけでなく，まちを訪れる方々にも高く評価されています。この歴史・文化を守り次世代に引き継ぐためには，安全で住みよいまちづくりを進めていくことが重要であり，また，福山市を代表する観光地として，それら景観資源の保全・修復，整備を計画的に進めていくことが必要となっています。
- ・沼隈，内海等の沿岸地域では，阿伏兎観音など歴史的景観や島々の自然景観だけでなく，内海大橋やフィッシャリーナなど現代における公共施設や工作物が瀬戸内海と一体となった美しい景観をつくりだしています。
- ・市東部の臨海工業地区から沼隈，松永までの埋立地では工業的土地利用の集積が図られており，環境に配慮しつつ，産業の活力が感じられる景観づくりが必要となっています。



② (都市計画マスタープランによる) 目指すまちづくりの姿

- 臨海工業地区から鞆，沼隈，松永までの沿岸地域における工業集積地は，本市の産業の中心的役割を担っている。今後とも，隣接する水産業や観光の拠点，住宅市街地など周辺環境との調和に配慮しつつ，産業拠点の形成を図っていく。

③景観形成の基本方針

●良好な自然景観の保全と活用

- ・ 鞆, 沼隈, 内海等の沿岸地域では, 自然海岸や島しょ美など瀬戸内海の自然景観が人々を引き付ける魅力的なものとなっており, その保全と活用を図ります。

●住み良さと歴史・文化が調和する鞆の景観づくり

- ・ 鞆地区では, 地域住民の安全で住みよいまちづくりとの調和を図りつつ, 歴史的建造物の保存・修復や自然景観の保全を図り, 市民の誇りとなり, 観光客にも愛される魅力的な景観の形成を図ります。

●自然景観と人がつくりだす景観との融合が地域の活性化に寄与する沼隈, 内海の景観づくり

- ・ 沼隈, 内海等の沿岸部を中心に, グリーンラインや内海大橋, 内海フィッシャリーナなど地域の振興に大きな役割を果たす人工構造物も含め, 美しい瀬戸内の風景を守り, 演出する景観の形成を図ります。

●鞆, 沼隈, 内海での海からの景観づくり

- ・ 鞆, 沼隈, 内海等の沿岸地域では, 陸地から瀬戸内海やそこに浮かぶ島々を望む眺望だけでなく, 海から沿岸部が見られることも意識した景観づくりを進めます。

●活力が感じられる産業景観づくり

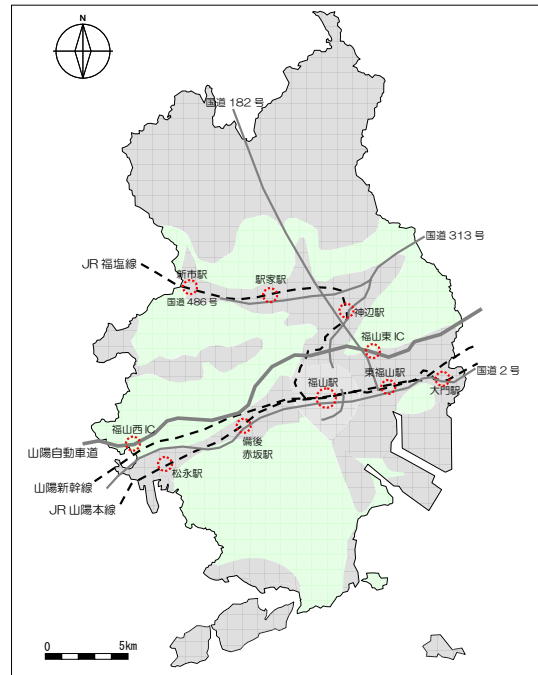
- ・ 市東部の臨海工業地区から沼隈, 松永までの工業集積地では, 色彩への配慮や緑化の推進などにより, 周辺的生活環境や自然環境との調和, 共生を図るとともに活力が感じられる良好な産業景観の形成を促進します。



(4) 自然共生ゾーン

① 景観概況

- ・市街地背後の山々やふもとに広がる田園や集落地は、市民にゆとりや和みを感じさせる重要な景観資源です。
- ・福山市の地形的特徴から、芦田川等の川沿いに丘陵地が迫っており、地域住民の身近に水と緑がもたらす潤いある風景が広がっています。また、丘陵地では、ゆるやかな斜面に緑が広がっており、季節感のある風景が続いています。
- ・農業の営みにも重要なゾーンであり、これら生産活動とその環境保全機能にも配慮しながら、福山の原風景として保全・維持することが望まれます。



② (都市計画マスタープランによる) 目指すまちづくりの姿

○東西南北の市街地を取り囲む形で広がる丘陵や農地は、治山・治水などの機能を有するとともに、都市に潤いを与える重要な地域資源です。今後も市街化を抑制する区域であることを前提に、全体の土地利用構想に基づき計画的な保全及び整備を行っていきます。

③ 景観形成の基本方針

● 農業生産と一体になった田園景観の維持・保全

- ・一定の広がりを持つ農地については、農業振興策との連携により耕作放棄を防いで生産機能を維持しつつ、その環境保全機能にも配慮した田園景観の維持・保全を図ります。

● 良好な水辺景観づくり

- ・河川沿いの風景となじむ景観誘導を図るとともに、植生や親水性などに配慮した水辺景観の形成を図ります。

● 主要な道路沿いで自然と調和した景観づくり

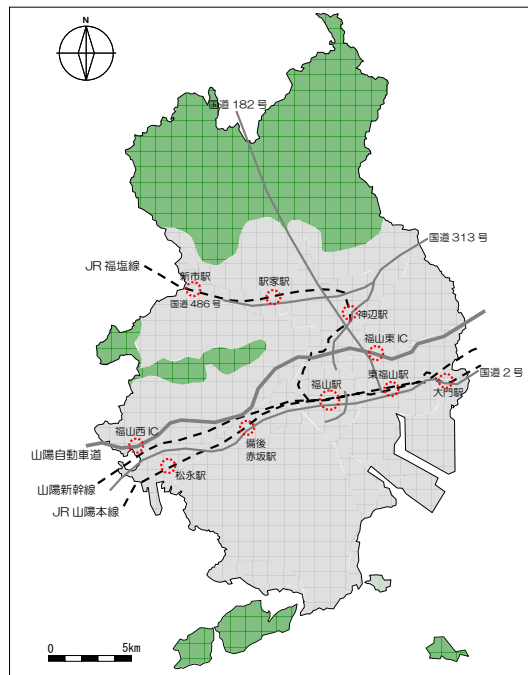
- ・主要な道路沿いでは、周囲の自然環境との調和など、景観に配慮した整備、誘導を行うことで、快適な沿道景観の形成を図ります。



(5) 自然保全ゾーン

① 景観概況

- ・市域北側などに広がる山々や瀬戸内海に浮かぶ島々の緑は、福山市の景観の背景を構成する重要な役割を果たしており、植生や生態系を考慮して適切に保全することが必要です。
- ・また、山野峡県立自然公園など、緑豊かな自然景観が楽しめるレクリエーション機能も有しており、利用と保全のバランスを適正に保つていく必要があります。
- ・農林業の営みにも重要なゾーンであり、これら生産活動と関連した保全・育成も考慮することが望まれるほか、山間には古くから集落が散在して山の暮らしを営んでいる区域もあり、緑と調和した集落景観を呈しています。



② (都市計画マスタープランによる) 目指すまちづくりの姿

- 北部の山間地域や島しょ部は、都市的土地利用が見込まれない都市計画区域外の区域である。今後も優れた自然環境の保全を前提に、レクリエーション環境の整備を中心とした地域形成を図っていきます。

③ 景観形成の基本方針

● 都市的な景観の背景となる緑の保全

- ・山々のスカイラインや山腹、丘陵地は、市街地や田園集落の緑の背景となっており、山林環境に配慮した保全を図ります。

● 魅力ある景観拠点の形成

- ・眺望点や、自然系レクリエーション施設、ハイキングコース等からの景観に配慮して整備することにより、魅力ある景観拠点の形成を図ります。

● 山村集落や自然景観の保全

- ・山間部においては、人々の生活と自然の調和した山村集落の景観や、安らぎを与える自然景観の保全に努めます。



農業地と集落(新市町)



猿鳴峡